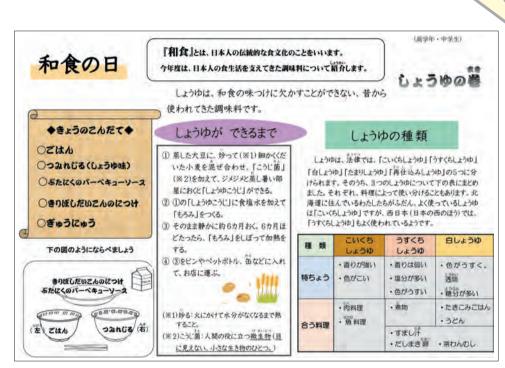


## 和意の日~自いで節をおいしく食べよう~

## 和食のよさを知り、味わう

白石区の小中学校では、年に数回「和食の日」を設けています。給食を通して和食のよさを知り、興味関心をもってもらえるような資料を配付しています。資料の内容は、「和食に欠かせない調味料(しょう油、味噌)」や「和食の調理方法」、「お米の栄養」などです。子どもたちは、和食について様々なことを知り、給食で味わうことを通して学びを深めます。







## 和食の中心「白いご飯」を おいしくたくさん食べてもらう工夫

白石区の小中学校では、「白いご飯」をおいしくたくさん食べてもらうための取組を行っています。お米の栄養についての資料を学級に配付するだけでなく、実際に給食のお米を作っている生産者を取材し、写真や動画を使ってお米ができるまでの様子を子どもたちに伝えています。また、白いご飯をおいしく食べる方法「稲妻(いなずま)食べ」や、給食時に上手に盛り分ける方法などについても指導しています。このような取組とともに、毎年、区内の学校で白いご飯の残食量を調査し、調査結果を交流したり、指導方法を見直したりし、残食が減るように目指しています。



